

press release

2012年3月5日

(本資料は2012年2月29日にロンドンで発表されたプレスリリースの参考訳です)

スタンダードチャータード 2011 年度決算で最高益を更新

業績ハイライト

- 営業収益は、前年比 10%増加して 176.4 億米ドル、税引き前利益は前年比 11%増加して 67.8 億米ドルを計上
- バランスシートの力強い成長: 顧客融資は前年比 9%増加して 2,690 億米ドル、顧客預金残高は同 11%増加して 3,520 億米ドルを記録
- 堅固な資本力: コア Tier 1 資本比率 11.8%、2013 年末までに必要な借り換えは最小限
- 収益の分散化: 事業展開する 24 市場で 1 億米ドル超の営業収益、14 市場で 1 億米ドル超の税引き前利益を計上
- 事業の成長基調を維持: 税引き前利益はコンシューマーバンキング部門が前年比 26%増、ホールセールバンキング部門は初めて 50 億米ドル超えを果たす
- 事業への投資を継続したものの、費用の伸びは収益の伸びと一致
- 顧客向け支援の継続により、融資残高は 2006 年から 91%増加
- 1 株当たりの年間配当額は 10%増加して 1 株当たり 76 セント

スタンダードチャータード PLC(本社:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ)は、2011 年度業績(2月29日付で発表)が営業収益・税引き前利益共に 9 年連続で最高益更新となったことを発表しました。最高益の継続は、潤沢な資本と流動性、そしてアジア・アフリカ・中東地域といった急成長市場全般の複数の収益源に下支えされました。営業収益は前年比 10%増の 176.4 億米ドル、税引き前利益は前年比 11%増の 67.8 億米ドルでした。

当行グループは、営業収益を 24 市場で、1 億米ドルを上回る税引き前利益を 14 市場で計上しています。事業の多様性および地域市場の分散化が奏功して、当行は営業収益を堅調に伸ばし、一部の市場が厳しかった今年度でさえも営業収益の成長を果たしました。ここ 5 年間、各年度において資本水準、従業員数、一株当たり利益、配当額、ならびに営業収益と税引き前利益を拡大させてきました。同期間において融資残高は 91%増加しました。

当行グループは、強固な資本基盤と高い流動性を維持する方針を掲げ、それによりトレードファイナンス事業などコアの事業分野で、景気サイクルにおいて事業活動の維持と市場シェアの獲得を実現してきました。2011 年末時点で、コア Tier 1 資本比率は 11.8%に達しており、預貸率(A/D 率)は 76.4%でした。当行グループは、ギリシャ・アイルランド・イタリア・ポルトガル・スペインのソブリン債への直接投資はありません。

本年度の顧客預金残高は 11%増の 3,520 億米ドルとなり、顧客融資残高は 9%増の 2,690 億米ドルでした。英国銀行税が 1 億 6,500 万米ドル発生したものの、費用の伸びは営業収益の伸びと一致して 10%でした。従業員は本年度中に約 1,600 名増員され、8 万 7,000 人近くとなりました。

コンシューマーバンキング部門

コンシューマーバンキング部門においては、事業改革プログラムの継続が功を奏して、営業収益は12%増の67.9億米ドル、税引き前利益は26%増の16.5億米ドルとなりました。同部門は、無担保資産の一角の成長、利鞘の改善、前年度に行った投資の影響の恩恵を受けました。プライベートバンキング事業といったハイバリューセグメント全体では21%と営業収益が順調に伸び、中小企業(SME)顧客向け事業は14%、プライオリティバンキング事業は10%それぞれ成長しました。

不動産融資事業では、LTV(貸出の不動産担保価値に対する比率)が平均で約49%と低く抑えられたとともに、分散型・担保型融資商品の提供により、堅固な事業基盤構築に向けて力が注がれています。

同部門は、引き続き投資能力増強のためのプロセスの標準化と、費用効率の向上を図っています。コンシューマーバンキング部門においては、中国・シンガポール・香港・アフリカを中心に従業員を1,200名超増員しました。当行は、中国の19店舗を含め2011年に35店舗を新設しました。それに加えて、400箇所以上のATMを更新し、携帯電話及びオンライン・バンキングの機能を向上させ、前年に比べてマーケティング費を拡大しました。

ホールセールバンキング部門

ホールセールバンキング部門では、営業収益と税引き前利益は共に9%増加し、それぞれ108.5億米ドル、52.2億米ドルでした。全体の82%を占める顧客収益の伸び率は10%となりました。それは当行が既存顧客との取引量を拡大し、顧客のニーズに合わせた商品とサービスへの投資を続けたことに起因します。

営業収益は引き続き十分に分散されており、トランザクションバンキング、フィナンシャルマーケット、コーポレートファイナンスの3大事業で2桁成長を遂げました。トランザクションバンキング事業では、取引量の伸びが前年の利鞘低下を補い、営業収益は前年比9%増の15億9,500万米ドルとなりました。キャッシュマネジメント事業の営業収益は、同27%増の16億5,200万米ドルに達しました。

為替・金利・コモディティ・株式・キャピタルマーケット・クレジットを含むフィナンシャルマーケット事業は、顧客向けにサービスを提供するトランザクションバンキングと連携し、厳しい市場環境の中で底堅さを保ちました。営業収益は前年比12%増の36億8,800万米ドルでした。コーポレートファイナンスの営業収益は同10%増の18億7,300万米ドルとなり、前年に比べて取引量が15%拡大し、2011年は最後まで良好でした。

ホールセールバンキング部門は、当行グループの強力な国際ネットワーク及び事業基盤の恩恵を享受し、営業収益全体の48%は本国以外の顧客からの利益となりました。

クレジットコスト

クレジットコストは全体として3%増加しました。コンシューマーバンキング部門では、クレジットコストは前年に比べて9%減少し5億2,400万米ドルにとどまりましたが、融資残高の規模と構成の変化を反映して下期に拡大しました。当行は引き続きエクスポージャー全体に対して満足しています。

ホールセールバンキング部門における2011年のクレジットコストは、3億8,400万米ドルと前年度から26%増加し、その大部分は過去の減損勘定の引当金の増額に関連しています。融資全体のクレジットクオリティは引き続き良好で、当行グループは先を見越した規律あるリスク管理手法を継続しています。

当行グループ最高経営責任者(CEO)であるピーター・サンズは以下のように述べています。

「営業収益・税引き前利益共に9年連続して最高益を計上できたのは、当行の戦略の力と事業の底堅さの現れです。私どもの資本力と資金調達力によって、ビジネスの門戸が開かれ、市場シェアを獲得できているのです。アジア・アフリカ・中東地域のコア市場の個々において、また

新興国における取引量と投資フローの爆発的成長の発展において、莫大なチャンスを見据えています。顧客への融資、その取引の促進、為替レートとコモディティ価格のリスク管理に対するサポート、新たなパートナーシップや投資の特定とそのサポート、顧客の資本市場へのアクセス支援などをきちんと実行することにより、私どもは当行の社会目的の遂行、経済成長の原動力への寄与、雇用創出への貢献を果たしているのです。」

詳細につきましては、下記へご連絡ください。

Jon Tracey, Head of Media Relations (w) +44 20 7885 7613
jonathan.tracey@sc.com (m) +44 7730 051846

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

財務実績ハイライト

グループ (単位:百万米ドル)	2011 年度	2010 年度	増減(%)
営業収益	17,637	16,062	10
費用	9,917	9,023	10
クレジットコスト	908	883	3
税引き前利益	6,775	6,122	11
ホールセールバンキング部門			
営業収益	10,846	9,979	9
税引き前利益	5,216	4,770	9
コンシューマーバンキング部門			
営業収益	6,791	6,079	12
税引き前利益	1,650	1,313	26

税引き前利益(国・地域別)

国・地域 (単位:百万米ドル)	2011 年度	2010 年度	増減(%)
香港	1,551	1,103	41
シンガポール	1,002	718	40
韓国	172	388	(56)
その他アジア太平洋地域諸国	1,447	1,083	34
インド	804	1,197	(33)
中東・南アジア	834	841	(1)
アフリカ	596	559	7
米州・欧州(英国含む)	369	233	58

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびに香港証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場-アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢87,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で132年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約270名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードのグローバルウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

スタンダードチャータード銀行 在日支店ウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行 在日支店ウェブサイト(英語): www.standardchartered.co.jp/index_english.html